



「お祭りが、もうすぐ始まるよ」

10/15 多治神社「かっこすり」

広報

なんたん

もくじ

- 2 平成21年春 JR嵯峨野線複線化
- 4 第1回南丹ビートフェスティバル
- 6 ジヤトコ株式会社新工場完成記念式典／五ヶ荘・殿田小学校統合へ
- 10 いきいき南丹／ぶらりなんたん～南丹市国際交流会館～
- 14 なんたん歳時記～馬かけ～／わが家のアイドル

11月号

2006年 Vol.11

開け行く南丹市の未来をつくる

平成二十一年春 JR嵯峨野線複線化

一八九九年(明治三十二年)京都鉄道嵯峨園部間が開業してから百七年、沿線住民の悲願であったJR山陰本線(京都園部間)の複線化工事が、平成二十年度の完成をめざして進められています。その概要をお伝えします。

事業の概要

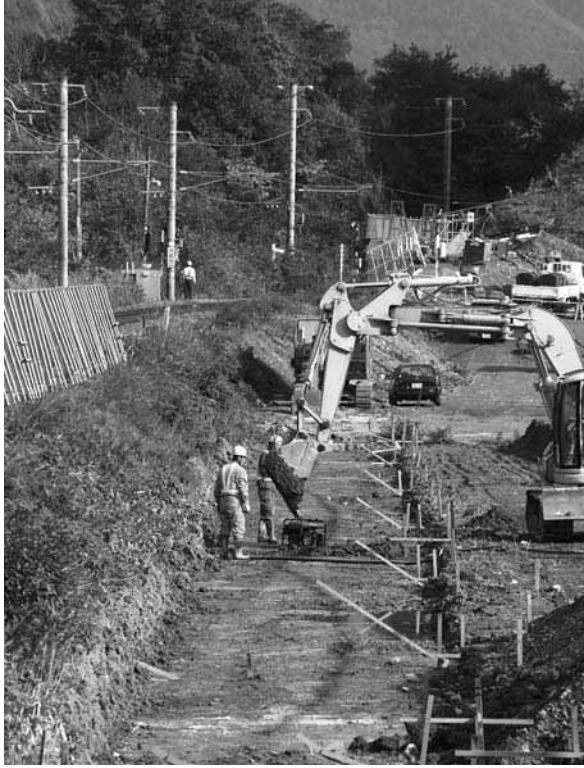
今回、複線化事業が進められているのは、既に複線化が完成している二条～花園間(約二・七キロ、平成十二年完成)と嵯峨嵐山～馬堀間(約七・八キロ、平成元年完成)を除く、約二十二・八キロです。京都～二条間(約三・三キロ)では、丹波口までの盛土や二条の高架橋工事が進められています。また、花園～嵯峨嵐山間(約三・四キロ)では、太秦までの高架化や嵯峨嵐山までの盛土工事のための仮線路の敷設工事が進められています。

馬堀～園部間(約十六・二キロ、亀岡市域約九・三キロ、南丹市域約六・八キロ)では、区間内の用地買収が進められており、平成十

八年十月現在までの用地買収の進捗率は五〇%強となっています。

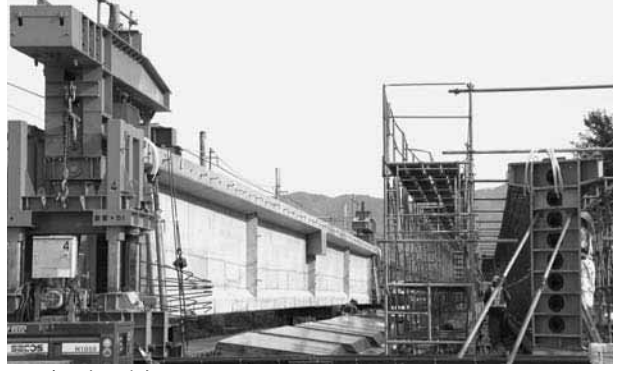
また、各所で山切り工事や落石防護工事等が進められており、用地買収後、路盤や橋梁工事の完了した箇所から軌道の新設工事を進める予定で、平成二十年度内には、全区間の工事が完了することとなります。

馬堀～園部間の複線化事業費百二十一億円については、JR西日本、京都府、沿線市町が三分の二ずつ負担することになっており、また、沿線市町の中では、人口、駅数、乗車人数等に応じて負担割合を決めています。その結果、南丹市の負担額は、約十四億七千万円と見込まれており、平成十七年度では約一億三千七百万円を負担しました。



▲八木町玉ノ井地内

南丹市内の沿線で進められている工事



▲八木町本町地内



▲八木町玉ノ井地内

完成後の整備効果

京都～園部間の複線化が完成すると、列車の増発、所要時間の短縮(普通電車で十数分の時間短縮が見込まれています)、快速電車の増発、上り下りで均衡の取れたダイヤ設置等が可能になり、サービス水準が大幅に向上する見込みです。

福知山線では、平成元年から快速が運行され、兵庫県三田市のニュータウン開発に拍車がかかり、人口増加につながりました。

また、滋賀県長浜市では、平成三年から新快速が運行、「黒壁スクエア」などの観光施設の整備とあわせ、乗降客が増加し、運行前の一日約二千五百人が、昨年度には四千九百人に倍増しました。

園部駅の一日の平均乗車人数は、平成十二年度以降、毎年増え続け、平成十六年度では四千四百三十人となっております。京都～園部間では、二条、円町、亀岡を除く沿線各駅と並ぶ乗降客数となっております。

京都～園部間の複線化によって、かつて「ローカル線」と呼ばれた不便な路線から脱皮し、「都市交通」と呼ばれる便利な路線への仲間入りに期待が寄せられています。将来、さらに乗降客が増えれば、新快速や大阪から直通のホリデー号などの運行も考えられます。

「人口減少」や「少子高齢化」によつて、地方の活力の衰退が叫ばれる中、南丹市への観光客や定住者が増え、まちの活力となることと期待されています。

事業化までの経過

- 1969年(昭和44年) 山陰本線(京都～園部間)の複線電化促進協議会を亀岡市、八木町、園部町で設立
- 1975年(昭和50年) 日吉、丹波、瑞穂、和知の各町が加入
- 1977年(昭和52年) 美山町、京北町が加入
- 1979年(昭和54年) 京都～福知山間の電化と京都～園部間の複線化について、運輸大臣が許可
- 1987年(昭和62年) 国鉄民営化に伴い、西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)が発足
- 1989年(平成元年) 嵯峨嵐山～馬堀間の複線化完成
- 1990年(平成2年) 京都～園部間の電化完成
- 1996年(平成8年) 園部～天橋立間の電化完成
- 1998年(平成10年) 山陰本線京都中部複線化促進協議会に改称
- 2000年(平成12年) 二条～花園間の複線高架完成、円町駅開業
- 2003年(平成15年) 山陰本線(京都～園部間)複線化起工
- 2009年(平成21年) 平成20年度中、山陰本線(京都～園部間)複線化完成予定



大野小学校



園部第二小学校



**第1回
南丹ビートフェスティバル**

9月30日 南丹市園部公民館



川辺小学校 みおつくし太鼓



小桜太鼓 (園部小学校PTA)



京都府立淇陽学校



摩気小学校



小山太鼓(園部第二小学校PTA)



西本梅小学校 太鼓クラブ



そろいの衣装に、はちまき姿の勇壮な小学生や和太鼓サークルによる『和の音』が秋色の南丹市に響き渡りました。市内の十一団体が参加し、心を一つにして地域に伝わる曲や創作曲などの演奏を披露しました。



園部小学校 ふれあい太鼓



鼓魂



園部中学校



南丹市産業の発展と振興に期待

―ジャトコ株式会社新工場完成記念式典―

十月十一日、南丹市八木町室橋にある、自動車用変速機の専門メーカー「ジャトコ」の八木工場増築工事が完了し、完成記念式が行われました。式には、山田啓二知事や佐々木稔納市長のほか、ジャ



▲最新の技術を備えた工場を見学

トコの関係者など、およそ七十人が出席して完成を祝いました。ジャトコ八木工場では、平成十二年四月に三菱自工八木工場として操業以来、これまでに約四十七万台以上の無段変速機を生産してきましたが、工場が手狭になったため、昨年一月から増築工事を進めていました。

工場では、燃費性能の向上と排出ガス削減による最先端の環境技術としても注目される、ベルト式無段変速機の生産ラインなどが新設され、フル稼働する来年の九月からは、月産二万五千台の増産が図れるということです。

工場では、新型のオートマチックトランスミッションの生産も開始され、今後は工場の拡張に伴った従業員の増加も予定されており、雇用の促進や地元の振興に期待が高まっています。

長年の水道普及に表彰

―日本水道協会会長表彰―

長年の水道事業にたずさわり、水道の普及発展に貢献した人に贈られる「日本水道協会会長表彰」を受賞され、秋田県立武道館で行われた「日本水道協会第七十五回総会」で表彰されました。

矢野さんは、昭和三十七年に旧園部町水道事業所に勤務され四十三年以上にわたり、園部地域の水道の普及と安定した供給に努めてこられ、その功績が顕著であり受賞されました。



▲表彰を受けられた矢野照昌さん

南丹市産の優良木材を表彰

―南丹・京丹波林業振興展―
十月十八日、八木木材市場で「第七回南丹・京丹波林業振興展」が開かれ、出展されたスギやヒノキなど約二千六百点が審査されました。

今年から旧美山町地域を含む、南丹市・京丹波町から選りすぐりの木材が出展され、長年の手入れが行き届いた上質の材が並びました。

審査の結果、京都府知事賞に南丹市園部町の奥村善明さんのヒノキ、南丹市長賞に八木町の石橋喜巳さんのスギが選ばれたほか、生産者八人に表彰状が手渡されました。



▲多くの木材が出展されました

障害者スポーツの振興と交流を図る —第1回南丹市身体障害者福祉会スポーツ大会—



▲卓球バレーなどが競われました

南丹市内の身体障害者スポーツの振興を図り、社会参加の促進およびスポーツを通じた交流と親睦を深めることを目的に、第一回南丹市身体障害者福祉会スポーツ大会が南丹市日吉総合運動広場およびユースホールで行われました。

開会式では第六回全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫国体」のフライングディスク競技のディスクスタンス（ディスクを遠くへ飛ばす競技）とアキュラシー（ディスクを投げて輪に通す競技）で三位に

なった松本辰雄さん（八木町）とディスクスタンスで一位になった松本弘子さん（八木町）が「ハンディを克服し、持てる力を精いっぱい出し切ります」と選手宣誓をしました。

競技は卓球バレー、ゲートボールが各支部ごとに、フライングディスク、グラウンドゴルフが個人競技で行われ、集まった百人の参加者は、日頃の練習の成果を発揮しようと競技に集中するとともに、競技のコツなどを教えあひながら、交流を深めていました。



▲選手宣誓を行った松本辰雄さん(左)と松本弘子さん(右)



▲球根を一つひとつ丁寧に植えました

「みんなで人権の花を咲かせよう」

十月二十六日、南丹市立殿田小学校の四年生二十一人が人権の花の植え付けを行いました。

子どもたちが協力しながら、花の栽培をすることで、命の大切さや相手を思いやる気持ちを身につけてもらおうと、園部人権擁護委員協議会から小学校へ水仙の球根百三十個とプランターが贈られました。

児童を代表して湯浅栄太君が「みんなで大事に育てていきます」とお礼を言い、贈られた球根をみんなで協力しながら植えていきました。

十月三日、南丹市バス交通整備計画検討委員会が行われました。委員会では、十四人の委員の互選により委員長に谷義治さん（園部町）、副委員長に吉見徳寛さん（八木町）を選出。続いて、現在の市営バスの路線、ダイヤ、利用状況について事務局から説明がありました。また、市営バスの現状と課題について、住民アンケートを実施することが決められました。

今後は、アンケートの結果などを基に、改善や計画方針がまとめられ、具体的な取り組みが行われていきます。

利用しやすい交通機関をめざす —バス交通整備計画検討委員会—



▲市営バスの現状について説明されました



五ヶ荘小学校と殿田小学校が統合へ — 学校統合覚書調印式 —



十月五日、五ヶ荘小学校と殿田小学校との学校統合覚書調印式が南丹市役所で行われました。

調印式では佐々木稔南丹市長と地元の佐々江区大道芳夫区長並びに四ッ谷区加地一郎区長により覚書に調印されました。これにより、平成十九年度からは五ヶ荘小学校に通学する児童は殿田小学校へ通うこととなります。

加地区長は「殿田小学校と五ヶ荘小学校との交流事業も行われており、早い統合を望んでいました」と期待を述べられ、大道区長は「学校跡地については、地域が活性化できるものを造っていただきたい」と地元の要望を伝えられました。

五ヶ荘小学校と殿田小学校の統合は、平成十四年頃から地元区やPTAと教育委員会との間で話し合いが進められ、平成十九年四月一日からの学校統合が決められました。

教育委員会関係委員を紹介します

南丹市では、スポーツ振興、社会教育の促進および文化財保護などを目的として次の委員にお世話になっていきます。

〔体育指導委員〕

任期は平成二十年度末まで

- 山田 洋三 (園部)
- 柴山 徳子 (園部)
- 中村 公治 (園部)
- 吉田 靖 (園部)
- 谷 正幸 (園部)
- 奥村 梨恵子 (園部)
- 下司 富美子 (八木)
- 齊藤 昌久 (八木)
- 西田 哲也 (八木)
- 西垣 真史 (八木)
- 徳山 隆司 (八木)
- 八木 誠司 (八木)
- 川隅 富士夫 (日吉)
- 村山 太三 (日吉)
- 田中 悦美 (日吉)
- 湯浅 みさを (日吉)
- 磯部 源三郎 (日吉)
- 坂本 勇 (日吉)
- 徳田 利春 (美山)
- 名古 明美 (美山)
- 平井 幹人 (美山)
- 中島 由美 (美山)
- 中川 敦雄 (美山)
- 石田 武司 (美山)
- 高木 茂 (園部)
- 前田 三子 (園部)
- 池田 瞭 (八木)
- 松本 則子 (八木)
- 麻田 健治 (八木)
- 杉尾 輝和 (日吉)
- 小栗 須賀野 (日吉)
- 小畑 弘 (美山)
- 中西 多嘉子 (美山)
- 梅原 正巳 (市内中学校)
- 出野 正 (市内小学校)

〔文化財保護審議会委員〕

任期は平成二十一年度末まで

- 河原 信之 (園部)
- 小林 本一 (園部)
- 小嶋 一夫 (園部)
- 宅間 博 (八木)
- 井上 省三 (八木)
- 大槻 左門 (八木)
- 久野 克己 (日吉)
- 片山 義宏 (日吉)
- 田中 忠夫 (日吉)
- 東 慧 (美山)
- 中野 文平 (美山)
- 谷口 宏心 (美山)
- 上島 享 (京都府立大学)
- 福島 恒徳 (花園大学)
- 矢ヶ崎 善太郎 (京都工繊大)
- (順不同・敬称略)

〔社会教育委員〕

任期は平成二十年度末まで

- 上野 嘉雄 (園部)

配偶者などから暴力をなくす運動期間 11月12日～25日

身体を傷つける暴力
心を傷つける暴力
性を強要する暴力
経済的困窮を強いる暴力
監視して社会から孤立させる暴力
子どもを巻き添えにした暴力

～ひとりで悩まずに相談してください～

■公的相談窓口

相談機関	電話番号	開設日・時間	相談方法
京都府配偶者暴力相談支援センター	075-441-7590	毎日9:00～20:00 毎週月～金曜日(祝日・年末年始を除く)9:00～16:00 ※必要に応じて一時保護も行っています。	電話相談 面接相談 ※要予約
京都府女性総合センター	DVサポートライン 075-692-3228	毎週月～土曜日10:00～17:00 祝日10:30～16:30 (水曜日除く。12:00～13:00は休)	電話相談 面接相談
		一般相談 毎週月～土曜日 10:00～18:00 毎週日・祝日 10:30～16:30 (水曜日除く。12:00～13:00は休)	電話相談 面接相談
	075-692-3437	フェミニスト・カウンセリング 毎週木曜日 18:00～21:00	面接相談
		法律相談 第2・4木曜日 13:30～16:30	面接相談
京都府警察総合相談室 (京都府警察本部)	075-414-0110 (#9110)	毎週月～金曜日(祝日除く) 9:00～17:45	電話相談 面接相談
南丹警察署広聴相談係	0771-62-0110		
レディース110番 (性犯罪被害に関する相談)	075-411-0110	毎日(24時間対応)	
女性の人権ホットライン (京都地方法務局人権擁護課)	0570-070-810	毎週月～金曜日(祝日除く) 8:30～17:15 (12:00～13:00は休)	電話相談

ドメスティック・バイオレンス(DV)は、
夫婦や恋人などの親しい男女(パートナー)間
で振るわれる暴力です。
DVは心身を傷つけ
人権を著しく侵害する行為であり、
決して許されません。

STOP!
ドメスティック・バイオレンス

南丹市

問い合わせ先 企画情報課 ☎(0771)68-0003

いきいき南丹

9



お元気ですか?
保健師です。

「もの忘れ」を年齢のせいにしていませんか?

早期発見、早期治療を!

高齢になると誰でも「もの忘れ」が増え、認知症(以前は「痴呆」と呼ばれた病気)でないかと気にする人が多くなります。

「もの忘れ」は記憶障害であり、年をとるとともに多くなりますが、その中には、老化に伴う「年相応のもの忘れ」と「認知症のもの忘れ」があります。

「年相応のもの忘れ」は、程度の差はありますが誰でも起こります。「知人の名前が出てこない」「朝食に食べた物をふと思い出せないことがある」などの『ど忘れ』で、体験したことの一部だけを忘れるのが特徴です。多くは心配のない良性の記憶障害です。

「認知症のもの忘れ」は「朝食を食べたこと自体を忘れる」といった体験そのものを忘れます。

これは、アルツハイマー病、脳血管障害やうつ病などが原因で起こります。

「アルツハイマー病によるもの忘れ」は脳の神経細胞が死滅・変性し、結果的に脳全体が委縮して機能が損なわれる病気ですが、発生する原因は分かっています。「アルツハイマー病によるもの忘れ」は、症状が進むと記憶以外の知的障害も低下し、放っておくとますますもの忘れが進行します。

「脳血管障害によるもの忘れ」は、脳の血管が詰まったり(脳梗塞)、血管が破れて出血(脳出血)して脳細胞が死滅することで起こります。多くの場合は比較的ゆっくりと症状が進行します。

「うつ病」や「抗パーキンソン

ン病薬、抗うつ病薬、抗不安薬」などの薬剤の影響でも「もの忘れ」が現れます。これらは、うつ病の治療や治療薬を変更することによって治る可能性があります。

「もの忘れ」が増えてきたことを気にしている頃は、あまり心配のない場合が多いですが、「認知症のもの忘れ」は本人が「もの忘れ」を自覚していません。「肝心の内容を覚えていない」「会話したこと自体を忘れる」という様子が見られたら、「認知症のもの忘れ」を疑うことも必要でしょう。

「認知症のもの忘れ」が疑われる場合は、早めに「もの忘れ外来」や「精神科」「神経内科」のある病院で受診しましょう。「もの忘れ」が進んで不安・妄想といった精神症状や、はいかいたといった問題行動が出てきても、抗精神病薬をうまく使うことで病気をコントロールできます。また、周囲の人と積極的に会話するなど、刺激を与えていくことにより症状の進行を遅くすることもできます。

「最近「もの忘れ」が増えてきた…」など、気になることが

あればかかりつけの医師や保健師・専門医師に相談しましょう。

「年相応のもの忘れ」と「認知症のもの忘れ」の違い

	年相応のもの忘れ	認知症のもの忘れ
記憶	・人名を思い出せない等、細部のもの忘れである ・30分前のことは思い出せる ・記憶力の低下を自覚している ・つくり話をしない	・体験そのものが記憶から抜け落ちてしまう ・30分前のことや、聞いたばかりの話を忘れる ・記憶力の低下に対する自覚が薄い ・つくり話をすることがある
時間や場所の認識	・日付や曜日、今いる場所を言える	・日付や曜日、今いる場所が言えない
家庭生活	・炊事や掃除等これまでどおりできる	・料理の品目や炊事回数が減り、炊事をしなくなる
社会参加	・老人会やゲートボールに参加できる	・次第に老人会やゲートボールから足が遠のく
言語能力	・問題なし	・末期になると話が通じなくなる
学習能力	・新しいことを覚えることができる	・新しいことを覚えられない



～南丹市国際交流会館～

人と情報が自由に交流できる「お城」

園部公園内の一角に堂々とそびえ立つ国際交流会館。かつて園部の地に築かれた園部城は陣屋建てでしたが、城下町として栄えたこの地に平成四年、「伝統と創生」をテーマに、歴史的建造物である天守閣の城と、青空を映すガラス張りの近代的なデザインを融合した国際交流会館が建設されました。地下一階、地上五階建て、展示会やパーティーなど最大四百人を収容できるイベントホール、音楽会や講演会など音響効果に優れたコ



▲「六花亭」(3階)では、古き良き温かさに出会えます

有線テレビ自主放送の収録・編集が行われ、地域の話題を発信する情報交流の拠点となっています。平成二十年四月には、南丹市全域で番組の視聴が可能となります。一階の情報センターでは、伝統的な園部の民家を模して作られた「六花亭」は、囲炉裏を囲んでの親睦会や、国際交流の場としても利用されます。また、館内には、日替わりランチが人気のレストラン「グランビア」もあります。



▲自主放送「9チャンネル」収録の様子

国際交流会館の建設当初から運営に携わって来られた国際学園都市センターの森課長さんは、会館でのさまざまな交流やイベント、学習・文化活動を見守って来られました。「多様・多機能な施設ですので、目的に合わせて自由に利用していただけます。会議・研修会や文化サークル活動を始め、パーティ・展示会など、ぜひたくさんの方に広く利用していただきたいです」とのこと。

これまで園部のシンボルとして活躍してきた「お城風の建物」が、今後は南丹市の人びとや情報の交流拠点として、どんどん活用されることが期待されます。

お城案内



(財)南丹市園部国際学園都市センター 課長 森 光治さん



◀施設全景

南丹市国際交流会館

TEL (0771)63-1777 FAX (0771)63-1682

◆住所：南丹市園部町小桜町62番地1

◆交通：国道9号線宮町交差点から南丹市役所方面へ。園部公園横。

◆休館日：月曜・祝日（ただし、月曜が祝日の場合は翌火曜日も休館）・年末年始

※利用料・設備などの詳しいことはお問い合わせください。

「たまごにいちちゃん」「パンツばんくろう」など子どもに大人気の楽しい絵本を書いている絵本作家、あきやまただしさんによる『絵本andトークライブ』が南丹市国際交流会館で行われ、およそ460人の親子が参加しました。

あきやますさん本人による作品の読み聞かせや、ギター演奏で一緒に歌ったりと、会場は子どもたちの笑顔とはしゃぎ声に包まれていました。

(10/22・絵本andトークライブ・園部町)

「親子で楽しめる 絵本ライブ」



▲楽しい絵本を読んでもらいました

「みんな集まれ! 元オリンピック選手と遊ぼうよ」

(10/7・スポーツ選手ふれあい指導事業・園部町)



◀ 宮村先生の指導を受け熱心に取り組みました

トップアスリートに指導してもらい、スポーツの楽しさを感じてもらうことを目的に(財)日本体育協会「子どもの体力向上キャンペーン」の一環として「スポーツ選手ふれあい指導事業・南丹バドミントン教室」が南丹市園部海洋センター体育館で行われました。

講師にアトランタオリンピックに出場された宮村愛子さんを迎え、基本的なラケットの使い方などを教えてもらいました。参加した小・中学生62人は、楽しみながら熱心に指導を受けていました。

みんなのひろば

まちの話題を
紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0003へお寄せください。

「秋の日吉を三輪車が駆け抜ける」

(10/8・ひよこいこい祭り・日吉町)

南丹市日吉町の府民の森ひよこで「ひよこいこい祭り」が開かれ、家族連れらがフリーマーケットや、地元の特産品が並んだ屋台などを楽しみました。周回数を競う恒例の2時間耐久三輪車レースには、府内外から47チームが参加し、予選を通過した25チームが1周約300mのコースで競いました。

三輪車は、木製のものや、コーナーで曲がりやすいように工夫されたものなど多彩で、各チーム4人が交代しながらの熱戦が展開されました。

選手がコーナーで転倒すると、ほかの選手から「頑張れ!」と声かけられる場面もあり、全員が完走目指して走りました。

なお、レースは「Team P.B.M.I」が88周で優勝しました。



▲手作りの三輪車で激走する選手たち



▲秋の美山を満喫する参加者

毎年恒例となっている「美山ワンデーマーチ」が、南丹市立宮島小学校をスタートし、大野ダム方面へ向かって歩く10*コースと、かやぶきの里（美山町中地区）へ向かって歩く20*コースに分かれて行われました。

美山の美しい秋の景色を楽しめるということで、全国からおよそ650人の参加者が、紅葉に染まる美山の秋を堪能しました。

「紅葉に染まる美山の秋を歩く」

(11/3・美山ワンデーマーチ・美山町)

南丹市園部スポーツフェスティバルが、南丹市園部公園周辺で行われました。グラウンドゴルフ・硬式テニス・ソフトテニス・ゲートボール・ソフトボール・バドミントン・ソフトバレーボールの種目に、地域の老人から子どもたちまで約450人が、個人やチームでさまざまな競技に参加。体力測定やゲームコーナーも設けられ、スポーツに汗を流す心地良さを感じることができました。

「体を動かしてスポーツを楽しむ」

(10/9・南丹市園部スポーツフェスティバル・園部町)



▲白熱した試合が展開

「大きな声で元気よく読もう」



▲元気に大きな声で音読できました

南丹市日吉町生涯学習センターで、京都府教育委員会主催の読書活動推進事業「声に出して読もう 南丹大会」が開かれました。日本語の美しさや、豊かな表現を学び、子どもたちに読書の楽しさを知ってもらうことを目的に、南丹・京丹波・亀岡から24校約460人の小中学生が参加し、大きな声で元気よく音読発表をしました。また、地元ボランティアグループによる人形劇が上演され、参加者たちは読書の楽しさに触れた1日でした。

(10/21・声に出して読もう 南丹大会・日吉町)

「地球資源のあり方について考える講演」

(10/8・南丹市合併記念「環境・新エネルギー」講座 講演会・八木町)

南丹市合併を記念して、南丹市八木公民館が取り組んでいる「環境・新エネルギー講座」で記念講演会が行われました。講演は市内在住で京都大学大学院芦田譲教授による「21世紀は資源争奪の時代」と題して、地球全体が抱える環境問題や、石油・天然ガスなどの天然資源の枯渇が進む現状を説明されました。芦田教授は「これからは、技術と資源および環境との『バランス』が重要である」と話され、会場に訪れた人たちは、話に聞き入っていました。



▲地球が抱える環境問題について説明されました

なんたん歳時記

—10—



日吉神社
「馬かけ」
—日吉町胡麻—

日吉町胡麻地区にある日吉神社では、毎年十月の中旬に秋祭りが行われます。

祭りは、祭礼前夜に宮ごもりをして、祭事を務める馬場量(馬場を清める役)、神馬(鎧をまとった武将)、騎手(袴を着た若衆)、射手(着物姿の女形)が「七色の膳(梨・ぜんざい・栗・枝豆・菓子・かまぼこ・甘酒)」を食べることから始まります。やがて、午前零時になると、馬場量が弓を持って東胡麻地区を巡拝します。翌日の早朝六時に身を清めた馬場量、神馬、騎手、射手、矢取りの稚児らが馬に乗り、胡麻地区を巡拝します。巡拝を終えた午後二時から神馬、騎手、射手が乗る馬が日吉神社前の馬場を駆け抜け、スギ板の的を目掛けて矢を放ち、厄除けを祈ります。豪快に駆ける馬が目の前を通り過ぎると、訪れた家族連れらは、盛んに拍手を送っていました。



●園部町
ほんごう 里奈ちゃん(2歳)
本郷 れん 蓮くん(2歳)

「これからも 元気で仲良くね」
(美山のじいちゃん・ばあちゃんより)

編集後記

『息白し』寒さひとしおですが、吐く息の白さに人の温もりや生きていることを実感します。痛ましいニュースを聞くと、人の温かさはもちろんな、自分自身の温かさも大切にしたいと心から願います。冬支度、セーター・こたつ・土鍋、それから日たまりのようなあったかい心の準備はできていますか？ (A)

DATA

- 総人口：36,244人 (-58)
(男：17,418人・女：18,826人)
(-33) (-25)
- 世帯数：13,571世帯 (-8)
(平成18年11月1日現在)
()内は前月比

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは企画情報課秘書広報係まで

広報
なんたん

編集・発行：南丹市役所 総務部企画情報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL：0771-68-0003 FAX：0771-63-0653
URL：http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail：kikaku@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、古紙100%の再生紙に、ソイインキ(大豆油)で印刷しています。